



● 2025年（令和7年）7月・8月の活動予定

悪天候時（又は緊急事態等）の作業中止連絡は am6時 40分までにメール致します。

給水に心掛け小まめな休憩を取り、安全を第一にした活動を継続しましょう。夏場対策等を盛り込んだ作業準備書を活動日の3日前に連絡します。内容確認をお願い致します。

● 7月13日（日）9:00～13:30（定時より30分早く集合・詳細は作業準備書を参照）

◇作業目的：桜の里山のイメージ共有 ポラ塾生の草刈体験実習

・集合場所 池の下広場 倉庫前

・作業内容：いっしんどう広場尾根道側の草刈りと植樹木の手入れ
：苗畑の草取りと外来種の駆除

・持ち物 常備具（鎌・手ノコ・ナタ）、お弁当、飲料水、防虫スプレー、他必需品

【持参器具】刈込みバサミ全量、作業旗2、シート1、救急箱、AED、熊手全量

● 7月27日（日）8:30(9:30)～13:30（夏場対策2段階集合、詳細は作業準備書参照）

◇作業目的：森づくりの準備作業 ・集合場所 池の下広場 倉庫前

・作業内容：中尾根休憩所尾根付近での在来実生樹の山取作業

：苗畑の草取り、又はウッドチップパーの試験運転：池の下倉庫付近の手入れ作業

・持ち物 常備具（鎌・手ノコ・ナタ・剪定バサミ）、お弁当、飲料水、防虫スプレー、他

【持参器具】スコップ3、巻き布、シュロ縄、作業旗2、救急箱、AED、スズランテープ1

● 8月9日（土）もしくは8月10日（日）臨時作業 8:00～11:00※7月中に再度相談し日時を決める。

◇中尾根散策路、池の上広場の草刈り

・8月16日（土）・救命救急講習会と親睦納涼会・集合場所、時間等は後日会計担当よりメールリングいたします

次号 原稿締め切りは 8月26日（火）編集担当 押木満雅氏までお願いします。

リレートーク担当 河野氏、記録担当 谷村、徳井、長谷川、星野、丸山 各氏

◆活動報告（抜粋）

・5月11日（日）雨天のため活動中止 ・5月25日（日）雨天のため活動中止

・6月8日（日）9時半～12時半 ・集合場所：池の下倉庫（記録：竹内氏）

・参加者：11名（渡邊、渡部、徳井、石渡、竹内、三島、野沢、森田、小宅、長谷川、谷村）

・作業目的：景観保全型広葉樹林地を目指して

・作業場所：いっしんどうエリア（広場内・ご神木オオシマザクラ一帯・港南台側斜面地）

・作業内容：ゴミ投棄等の防止対策も視野に入れた森の保全作業、林床の下草（笹・雑木等）の刈払と片付け作業、広場内のネザサの刈り払いとサツキの剪定作業、カエデ植樹用穴掘り・ゴミ拾い

活動内容：朝7時の時点で小雨模様だったが、天気回復の兆しあり。予定どおり活動を行うことをメールリング

リストにて周知する。集合前ロープワーク実習、道場丸上り口附近の落ち葉かき等 各自 実践

9:30 活動準備 参加者全員で行う。小屋横(池の下広場)でラジオ体操 最終準備書に基づく説明あり
10:00~11:30①林床整理 いっしんどう広場のオオシマサクラ一帯(氷取沢側) カエデ植樹予定地の穴掘り
(三島 徳井 渡部)②サツキの剪定(谷村 渡邊) いっしんどう広場(瀬上沢側) 笹刈り、景観よく背丈をそ
ろえる(石渡 竹内 野沢 森田 長谷川 谷村 小宅) 全体 渡邊 ~ 休憩一回はさんで ~
③いっしんどう広場(港南台側)の笹刈り

11:30~12:00 **寄り合い**

- 6月14日(土)臨時作業(草刈り)について8時~9時30分を目途に行う。(参加予定 渡部 三島 徳井 石渡 小宅)
 - 次回定例作業確認 6月22日(日)いっしんどう斜面の桜植樹付近を草刈り (7月13日(日)定例会、ボラ塾
生とサクラ植樹周辺草刈り)・夏場の暑さ対策 a.第1班8:30スタート、第2班9:00スタート 11:30より休憩・
食事 b.スポーツドリンクを配布 (小宅 準備)
 - 令和7年度森作り申請書の概要説明 (今週中に樹林地部会、本部提出 共有する)
 - 8月16日(土)救急救命講習会及び納涼会 (佐谷会長と相談)
 - 前回の役員会報告 ①会員募集手段について②facebook 刷新案 各部会の活動内容をわかりやすく発信できる方向性で
動画や写真などをつかってすすめていけるように コンテンツを考えていく
- 12:00~12:30 午前作業の延長 ③いっしんどう広場(港南台側)の笹刈り



•6月14日(土)臨時作業(草刈り) 写真及び記録 (小宅) 天気 曇り

活動内容* ①池ノ上広場 E9 奥 8時~9時 7:45 先発隊 (三島 渡部)刈払い機を使って除草
作業前写真(渡部)

8:00 ②後発隊 (石渡 浅見 徳井)順次 各自 クマデ、刈込バサミ等必要な道具を準備して向かう
暑さ対策の 経口補水液、塩分チャージ食品等 準備(小宅)

9:00~9:15 休憩後 中尾根散策路へ移動

9:15 ●中尾根入口組 E5 近辺(2名)苗畑内のドクダミ除草周辺草刈(石渡 浅見)

●散策路組 E5~A2(4名)左側 三島 右側 徳井 時間差をつけて刈払い

(前 小宅 後ろ 渡部 で 途中 散策者通行の際は合図をして作業を中断させて、歩行者にも
足元注意喚起呼びかける)

10:00~10:20 中尾根休憩所にて 水分補給 休憩 (別班にも連絡を入れて同時間に休憩を促す)

10:30 残り いっしんどう広場まで 継続作業(途中、ヤマユリなど季節の野草は適宜 囲いをつけて
その場で生かす) 11:20 作業終了 各自の道具を整えて 解散

夏場対策 注意点 途中、散策者から スズメバチ飛翔の情報あり。散策者には、長袖着用、黒い衣服は

避ける等、安全対策を伝える。熱中症対策のため、次回の定例作業後も、「作業支援品」として経口補水液、塩分チャージ食品は適宜準備していく



池ノ上広場 奥



中尾根散策路



モミジ桜苗畑 除草後

・6月22日(日)晴れ 8時半~12時半・集合場所:池の下倉庫(記録:佐谷 小宅)

※夏場対策として集合時間を8時半と9時半に設定、可能な時間に集合する。

・参加者:10名 ①先発組(8時30分集合) 三島 徳井 谷村 森田(4名)

① 後発組(9時30分集合) 渡邊 小宅 佐谷 野沢 石渡 押木(知(6名)

・作業目的:景観保全型広葉樹林地を目指して保全作業 ・作業場所: いっしんどう広場(瀬上池側) 植樹地

・作業内容:植樹木(ヤマザクラ・オオヤマザクラ)の成育管理作業・次回ポラ塾生受け入れ(7/13)準備

・植樹木毎に半径1m以内の草刈りとマルチング ・作業路として外周部の草刈りと片付け

8:30 ①刈払い機 各自の道具を整え、準備書に基づき最終打合せ ラジオ体操後に出発 繁茂した周囲の笹刈り、作業路をつくる。

9:30 ②各自の道具、救急セットを準備して準備書に基づき最終打合せ ラジオ体操後に中尾根散策路の植生を見ながら目的地に上がる。

10:00 合流 植樹木毎に半径1m以内の草刈りと根の部分が乾かないように 先発隊が刈り込んだ草を使ってマルチング 10:45 しっかり休憩 (経口補水液 塩分チャージ食品 支給する)

11:00 入口付近 作業路の笹刈り。

11:30 倉庫にもどり、刈込バサミの砥石かけ、次回ポラ塾生の道具の準備をする

救急セットの点検(谷村 押木 小宅)・夏場に特に必要なポイズンリムーバーの確認

寄り合い

◆救急車要請時のため、作業地の表示を全員で確認(いっしんどうエリアは【A1】)

◆持ち出した道具類は責任を持って持ち帰ること

◎・次回活動は 同じ場所でポラ塾生実習受け入れ作業(植樹木周辺の植生を観ながら、セイタカアワダチソウ駆除、刈込みバサミを使って笹刈りを行う)

・臨時作業 6/14日の活動報告 参加者6名(中尾根散策路除草・苗畑除草2班体制)

途中、マツカゼ草、ヒトリシズカ、カンアオイ、ヤマユリ、ホタルブクロの観察、保護。

散策者の安全に配慮しながら、刈払い機2台を使って行った。(ホイッスル必需)

・救命救急講習会 8/16日(土)開催予定 (窓口 佐谷)

講習会終了後、同日に親睦会(ランチタイム 食事)

講習会 参加者人数の確認は遅くとも7月末までに消防署に連絡

親睦会の場所、時間が決まった段階でメーリングリスト(グループライン)にてお知らせする(協力会員への周知も同様 担当 会計小宅より)・部員名簿取り扱いについて 個人情報保護の観点から役員のみ共有。

会員間で連絡をとりたい場合は、個別で対応 双方の了解を得てお伝えする。

活動中の緊急の連絡先は、電話番号のみ役員が処理できるように対応する)

・伐採等作業安全規則(樹林地部会作成)の確認 安全統括責任者の任命 徳井副部会長を推薦 承諾を受ける
・活動衣ビブス、ヘルメット等の件 新規加入者に貸与する備品については3部会とも安全をはかり、現場での保全活動を散策者にも理解、周知の必要である備品として、横浜市よりの貸与品として可能かも含めて、次回役員会(7/19)で方向性を一致させてすすめていく。

樹林地部会会員(谷村氏、森田氏)2名については、貸与品を部会に返還されたものをお渡ししている。



活着の様子を確認 しました

◆リレートーク 「家庭菜園」

押木満雅

昨年12月より竹内さんの紹介で峰に15平米の畑を借りて家庭菜園を始めた。今まで、我が家の狭い庭での野菜栽培経験はあるものの、このような広い場所での経験が無く、周りの人達の話、本を読む、インターネットの情報などを頼りにスタートした。先ず初めに、耕し、畝作り、施肥。竹内さんから頂いたスナップエンドウを始めに、玉ねぎ、レタス、春菊、ほうれん草や大根などを次々と植えていった。4月になると、それぞれが急に成長し、収穫を楽しみ、自宅では食べきれず近隣宅に配った。家庭菜園の楽しさは、収穫もさることながら、鳥の声を聞きながら日光を浴び風に吹かれて無心になって作業する。そんな時間を過ごして自己回復しているのではないかと感じている。

◆編集後記

何も考えずに、初めて、こじゅけい編集担当をお請けしました。そのあとで、WORD や EXCEL の知識や技術が乏しいことに気が付きました。四苦八苦しながらなんとか編集しました。至らないところがありましたら、何なりとお申しつけ下さい。皆様、貴重な原稿をお寄せいただき、有難うございました。(編集担当 野沢)



散策者への「スズメバチ 対策」服装の色 注意喚起です。